

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

## 赤池隣保館句会

互選

千羽鶴 翔べよ八月十五日  
 秋の夜 便りを書くに水二滴  
 川底の風 吹き上げて夏座敷  
 明け方の 一声やがて蝉時雨  
 底紅の奥の 秘めたる想ひかな  
 愛染に 絡みし定家葛かな  
 風向きし 匂ひも変えて野路の秋  
 まっすぐに 伸びて児の丈立菜  
 万緑の中なる 里の静寂かな

宮崎富美子  
 石井 恵子  
 大久保幸子  
 水上 翠人  
 千手 弘子  
 藤井耿之介  
 木村 誠一  
 山本恵美子  
 池田 駒女

## 鬼杉赤池俳句教室

岩井鬼童選

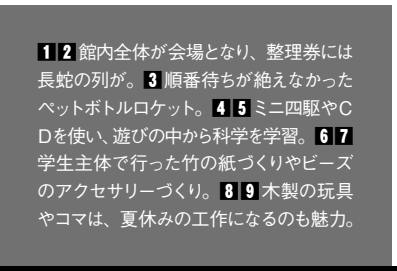
水郷の水影 涼しなまこ壁  
 頂きは 神の領域 富士登山  
 汗の児のおでこに 光る元氣かな  
 行者守る 飛沫に 細り滝不動  
 初夏の山 信者擁して 威厳満つ  
 避難所へ 急ぐ体力 あばれ梅雨  
 暑きこと 言はず 独りの水を呑む  
 夏のれん 替えて 明るき一人の間  
 登下校 暑さも 背負い 歩きけり  
 夏の空 元氣いっばい 子らあそぶ

建部三由紀  
 岩井 童子  
 西田 真美  
 松岡 萬枝  
 桂 啓子  
 加藤きみ子  
 植木 チエ  
 清原サヨ子  
 小五 西田 咲笑  
 小三 西田 芽生

## 福智の風

▶ 夏を迎えた7・8月、多くのイベントに足を運びました。記録的な暑さにも関わらず、準備や運営に携わる人や参加した人。その思いを直接聞き、場の空気を感じることで「伝えたい」という思いが自身のやる気につながると感じました。また今月から新コーナー「あったばい!福智」もスタート。もっと知ってもらいたい町の魅力をさまざまな視点から掘り下げて紹介していく予定です。他のページとあわせてぜひご覧ください。(田代)

▶ 「思いをカタチに」するために大切なこと、それは決してゆるがない「覚悟」と「夢」を持ち続けることだと今回取材した人々とお話して感じました。必ずやり遂げるという強い志、彼らの純粋なまなざしに町の未来を見ました。「夢は叶うからみるもの」と昔、生前の祖母に言われたことを今も思い出します。どんな夢でもいい、いくつになっても夢を描いていたいものですね。誰もが夢を描ける町へ— Be a dreamer. (太田)



1 2 館内全体が会場となり、整理券には長蛇の列が。3 順番待ちが絶えなかったペットボトルロケット。4 5 ミニ四駆やCDを使い、遊びの中から科学を学習。6 7 学生主体で行った竹の紙づくりやビーズのアクセサリーづくり。8 9 木製の玩具やコマは、夏休みの工作になるのも魅力。

## Pickup Topics

6月に来館者20万人を達成するなど、町内外から愛される施設となった「ふくちのち」で8月4日に「わくわく科学フェスティバル」が初開催されました。開館以来ものづくり分野にも力を注いできた中で、子どもの「理科離れ」を楽しくながら防ぐため科学をテーマに企画。以前より交流のあった鞍手高校に加え、企業や高校・大学の協力を得て、館内全体に10のワークショップが準備されました。



↑ 九大、九工大、福教大生など9の学校や団体がそれぞれワークショップを開催。自分で行う製作体験や実験など、科学に触れた参加者たちは、かけがえない夏休みの思い出を親子で刻みました。

## ふくちのちわくわく科学フェスティバル

主催/福智町図書館・歴史資料館ふくちのち

# 科学通じて 広げた夢



本を借りるだけではない、多彩な機能を持つ複合施設「ふくちのち」。今回は科学をテーマにしたイベントで各方面と連携し、その魅力と可能性を子どもたちとさらに広げました。

た。井上憲治館長は「出展した学校や企業が日々の成果を披露する場を提供できた。来館者にさらに施設とものづくりに興味を持ってもらえれば」と笑顔を見せました。この夏休み、町を代表する拠点施設は図書機能だけでなく魅力を発揮し、その可能性を広げました。

DATE: September.2018 NO: 001

福智町の魅力を  
ご紹介!

文化財編

● 田川市郡初の国指定史跡

### 城山横穴群

平成26年に田川市郡初の国指定史跡となった、南北約360m、東西約100mにわたる巨大な横穴群。横穴222基、墳丘12基、円墳1基が良好な保存状態で確認でき、規模や密集度の点で全国に比肩するほど価値のある、福智町の歴史的特性を理解するうえで重要な貴重な事例を確認できます。

● 観光サイト「ゆた〜とふくち旅」へ →

町の魅力はHPもチェック!

「ボランテア」に行けぬ術後の腑甲斐なさせめて祈りぬ被災地にむき  
 照り付ける猛暑つづきて草も木も渴いた土も雨を待ちをり  
 茅花の穂風にゆられておじぎする古里はいま蜜のころか  
 朝焼のあざやかな雲たなびきぬ今日はなんだか良きことあるらし  
 声かざりのちのかざりと啼く蟬にわが生きざまをかえりみてをり  
 雨降りて野山うるおい里芋もほっと一息猛暑の続く  
 うちわにて汗をしづめてくれし日の母想ひつつ盆の香焚く  
 海に消え空に散華し陸に散りし友の出でくる敗戦の八月

村上 美幸  
 越智 早苗  
 福田 キヨ子  
 桑野 昭子  
 白石 信子  
 白石 清和  
 三村 和子  
 福田 昌

ともしび短歌会短歌詠草